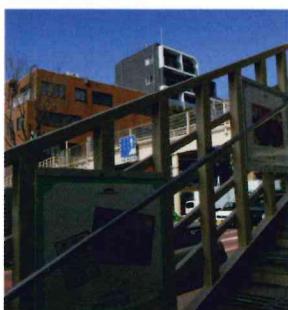


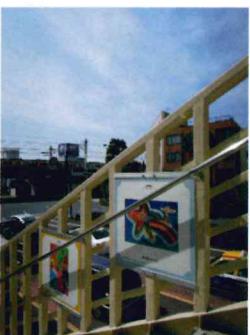
Voice of KOENJI

CITIZENSHIP

学びの架け橋



子ども達の感じる「高円寺」があざやかな絵となり、明るく地域を繋いでいます。



高円寺中学校とその周辺の小学校、高円寺で学ぶ子ども達の繋がりを象徴する「架け橋」として、高円寺中学校前の歩道橋を子ども達の絵で飾りました。テーマは「高円寺」そして「未来」です。私たち協議体が生み出した一つのネットワーク作品として、ぜひご覧ください。

学びの架け橋プラン実行委員会

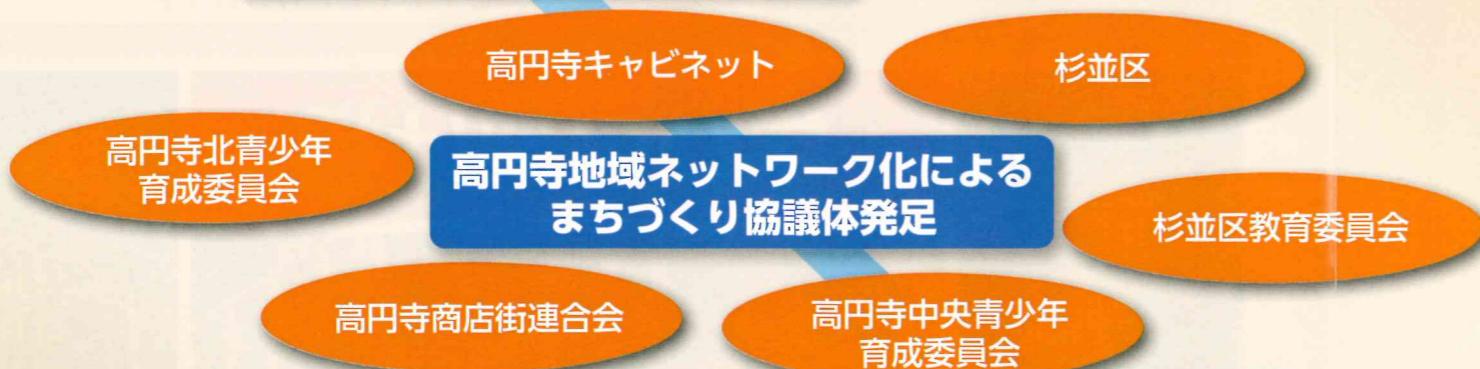
主催：杉並第四小学校・高円寺中学校学び支援本部、杉並第八小学校学校支援本部、高円寺北一丁目町会、高円寺北二丁目町会
後援：杉並区教育委員会

協力：東京都第三建設事務所、高円寺地域ネットワーク化によるまちづくり協議体、杉並第四小学校児童、杉並第八小学校児童、高円寺中学校生徒

高円寺地域ネットワーク化による まちづくり協議体のあゆみ

昨年4月の発足以来、具体的な地域のニーズ・個人のニーズを探り共有するために、アンケートや公開ディスカッション、ワークショップなどを開催し、3回のニュースレター(広報紙)を発行してきました。こうした活動を通し、各団体の枠組みを越えた新たなネットワークが構築されつつあります。

保護者有志によるフリートーク会



高円寺をもっと魅力的なまちにしたいと考える子育て世代が中心となって学校関係団体、商店街、杉並区、杉並区教育委員会が協働し、このネットワークが発足しました。

ワークショップを開催しました。

2013年3月1日（金）セシオン杉並

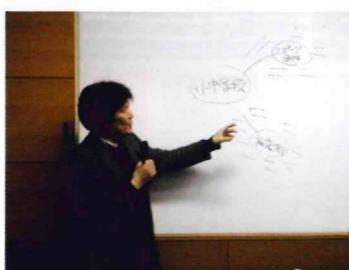
高円寺地域ネットワークの要となるコーディネーターを育成するため、ワークショップを行いました。高円寺を真剣に考える様々な世代、団体などから約40名の参加があり、情報や意見が活発に交換されました。

普段は異なる立場や仕事を持つ人々が垣根を無くして話すことで、ネットワークは自然に構築されていきます。そしてそういう場を提供し、提案していく人たちこそが、地域のコーディネーターなのではないでしょうか。

これからの高円寺のまちづくりには、より多くの方々にご参加いただき、様々な形でコーディネーターの役割を果たしていただく事が必要だと思います。



それぞれのテーブルでテーマに対する様々な意見が書き込まれた模造紙



東京都新しい公共モデル事業申請

高円寺地域団体へのアンケート

ニュースレターNo.1発行

公開ディスカッション開催

ニュースレターNo.2発行

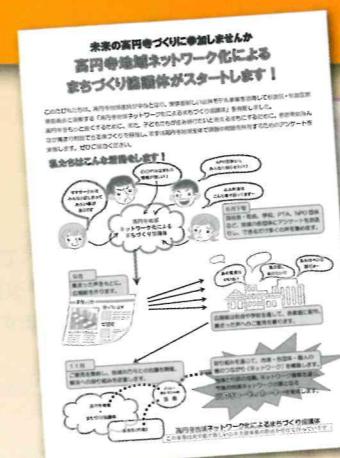
ワークショップ開催

子どもたちへのアンケート

ニュースレターNo.3発行

ここまで活動で広がった輪を活かし、さらにその輪に繋がる人々にも参加いただくことで、ネットワークがどんどん拡がります。そして地域全体の声が集まる事で、より暮らしやすく魅力的な高円寺になるように、協議体は今後も展開を続けます！

今後の活動 へ展開



幼稚園・保育園・学校・学校支援団体・自治会・地域団体など、高円寺地域で活躍する様々な団体の声を集めました。高円寺というまちへの愛、魅力、要望、問題など数多くの声が集まりました。

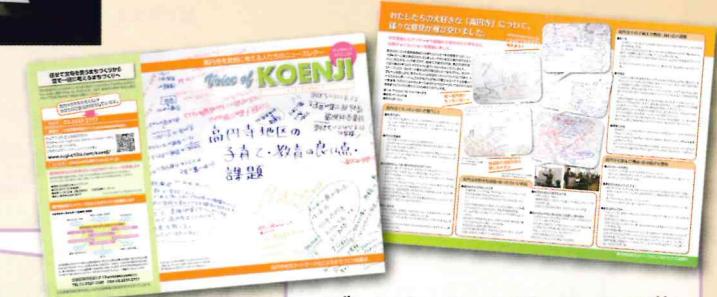


初回アンケートで集まった熱い声をまとめ、幼・保・学校・自治体などを通し、5,000部配布しました。目にした方々からは、「驚きの声とともに、アンケートに参加したかったとの声も多く上がりました。」



アンケート回答者やニュースレターをご覧になつた方が集まり、「高円寺のもったいない所」「子育てや教育の良い点と課題」など4つのテーマでディスカッションを行いました。

区役所の関係部署担当者も参加し、世代や立場を越えた対話が実現しました。



ディスカッションやメールで集めた声を元にニュースレター第2号を発行、8,000部配布しました。目にした人からまちづくりへの提案がありました。

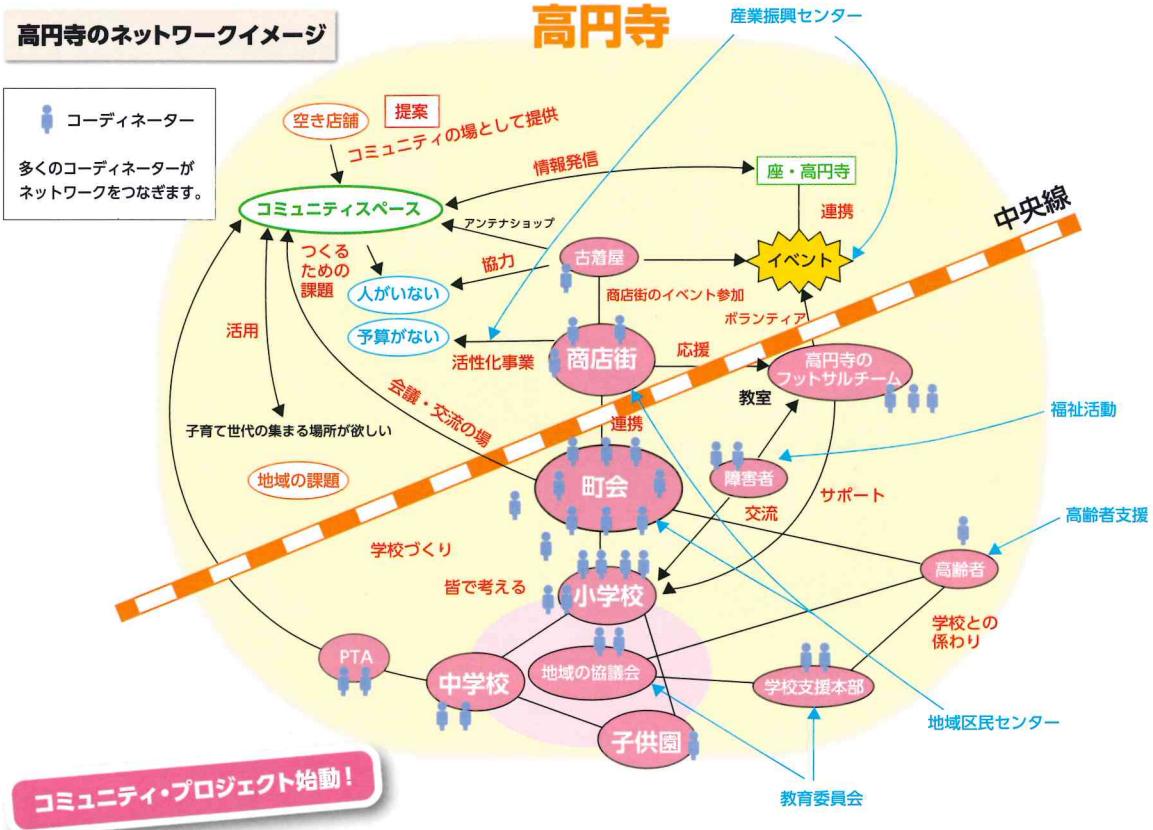
「高円寺と言えば」の問いに、どの学校の子ども達も思い浮かべるのはやはり阿波おどり。この地域資源を活かして次世代の育成を目指します。

任せて文句を言うまちづくりから 皆で一緒に考えるまちづくりへ

高円寺地域ネットワーク化によるまちづくり協議体は、
さらに魅力的な高円寺のため、まだまだ活動を続けます！

今、高円寺では、団体や立場、世代、職種などを越え、自由な発言をしあえる「ネットワーク」が生まれようとしています。学校の先生も、自治会の役員さんも、商店店主さん、店員さん、祖父母世代、パパママ世代、若者や子ども達、高円寺で暮らすすべての人々が、これからも高円寺に住み続けたい!と思えるように、自由に発言するネットワークです。高円寺の良い所を伸ばし、困った所を改善し、誰もが暮らしやすく、離れたなくなる高円寺にするために、広く細かく拡がる網の目が、高円寺で暮らす皆さんのが声を吸い上げます。多くの人が一緒に考え、想いを発言する事。これがネットワークの力であり、高円寺という地域のパワーとなります。

私たちはこれからも、高円寺に必要な事を真剣に考え、それを実現する方法を探ります。ぜひ皆さんのが声を届けてください。



協議体へ寄せられた地域の声。中でも目立つのは「子育て世代の集う場がない」「地域の情報が入ってこない」「座・高円寺が知られていないのもったいない」「高円寺北エリアと南エリアの交流を活発にしたい」といった問題でした。

この解決方法を考えていたところ、ニュースレターを見た方より「自分の空き店舗を高円寺のまちづくりに役立てたい」というお声がかかりました。「役立てたいがソウハウや予算がない」というのが、その方の課題でした。

そこで、この空き店舗をコミュニティスペースにするというプロジェクトがスタート！

商店街が主体となれば区の助成金を利用でき、地域の若手や大学生が運営に加われば新たな交流が生まれます。こうして子育て世代や買い物客の集う場をつくり、座・高円寺はじめ高円寺情報を発信すれば、数々の問題を一気に解決するまちづくり拠点ができる！

そこに集う人たちが情報を交換し、足りないところを補いあい、自分たちのまちを自分たちの手でつくる。

これは私たち協議体が目指した一つの形もあります。

来年度はこのコミュニティスペースを皮切りに、協議体のネットワークや地域の人の力を活かし、行政と協働してまちづくりをすすめます。ひとりひとりが高円寺のコーディネーターとなって、子ども達に愛されるまちづくりを！

高円寺地域ネットワーク化によるまちづくり協議体

杉並区高円寺北2-7-13(高円寺銀座商店会協同組合内)

TEL:03-3337-2000 FAX:03-3337-2777

●URL:www.sugi-chiiki.com/koenji/ ●MAIL:citizenship@kouenji.or.jp

この事業は東京都の新しい公共支援事業の助成を受けて行っています。

このニュースレターは高円寺にお住いの多くの方にご覧になっていただきたく、YC杉並さんのご協力を得て新聞折込の配布をさせていただきました。